

2009年9月18日

株式会社ソフトフロント  
代表取締役社長 阪口 克彦

(証券コード番号：2321)

問い合わせ先：取締役財務・管理統括担当  
佐藤 健太郎

電話番号：03-3568-7007

**業績予想の修正に関するお知らせ**

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

**記**

(金額の単位：百万円)

平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	370	△98	△98	△100	△1,086円93銭
今回修正予想(B)	220	△240	△240	△242	△2,630円38銭
増減額(B-A)	△150	△142	△142	△142	—
増減率(%)	△40.5%	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	334	△115	△114	△115	△1,344円35銭

**修正の理由**

第2四半期累計期間におけるわが国経済は、一部の経済指標が持ち直し、最悪な状況を脱して緩やかに回復するという兆しが見え始めましたが、先行きは依然、不透明な状況にあります。当社が関係する通信関連分野におきましては、設備投資の抑制が引き続き見られるものの、一部において回復の兆しが見られています。

このような状況の中、当社の第2四半期累計期間におきましては、デジタル複合機に代表されるMFP(Multi Function Peripheral)分野ならびにNGN(Next Generation Network)関連の開発案件において受注の増加傾向が見られるものの、受注が第2四半期会計期間の後半に集中したため、第3四半期会計期間以降に納品/検収となる開発案件が多く、売上高への転化が一定量に留まり、売上高は当初の予想より下回る見込みです。販売費及び一般管理費の削減により経費が当初予想より減少するものの、売上高の減少見込がこれを上回るため、営業損失、経常損失、四半期純損失、1株当たり四半期純損失につきましては、当初の予想より下回ることが見込まれます。

なお、通期の業績見通しにつきましては、受注が増加傾向にあること、第2四半期累計期間で受注した案件の売上計上が見込まれることなどから、業績予想の修正は行いません。ただし、現段階では先行き不透明な要素も多いため、今後、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

(注)

上記に記載した業績予想等は、本資料の発表日現在における将来に関する前提・見通し・計画に基づく予想であり、リスクや不確定要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等はこの資料に記載されている予想とは異なる可能性があることをご承知おきください。

以上

---